



2022 年 9 月 22 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

**慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）が
国際シンポジウムを開催（10 月 20 日）
－健康は誰の手に渡るのか：グローバル高齢化の観点をふまえて－**

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）健康寿命延伸プロジェクトは、2022 年 10 月 20 日（木）19 時から国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、国内外の専門家と共に「健康の不平等」をグローバルな視点で考え、これからの「健全なる健康寿命延伸」へ向けた議論の地盤となる知見を探ります。

つきましては、本シンポジウムの開催について、イベント欄へのご掲載ならびにご取材のほどどうぞよろしくお願い致します。

■開催概要

- ・日時：2022 年 10 月 20 日（木）19：00～20：30
- ・場所：Zoom を用いたオンライン配信（事前申し込み制）
- ・主催：慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）2040 独立自尊プロジェクト〈長寿〉
- ・対象：どなたでもご参加いただけます。
- ・言語：英語（同時通訳有）
- ・参加費：無料
- ・詳細：KGRI 公式サイト（<https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/131970.html>）よりご覧いただけます。

■内容

誰もが分け隔てなく健康を享受できる。われわれはそのような社会に生きているのだろうか。あるいはそれは単なる幻想に過ぎなかったのか。

世界に先駆けて超高齢社会の入口に立ったわれわれは、これまでの政策や社会構造を通じた健康の分配がすべての人にとって平等であったのかを、再考するべきでしょう。そこで、本年 6 月に第 2 版が出版された『健康格差社会：何が心と健康を蝕むのか（医学書院）』の著者であり、千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授の近藤克則先生をお招きし、健康の社会的決定要因とそのメカニズムについてご講演いただきます。

さらに、イギリスから、健康格差と高齢者研究に先進的に取り組むダニエル・ホルマン先生（シェフィールド大学健康寿命研究所）をディスカッションコメンテーターに迎え、健康格差社会がグローバル高齢化時代に与える影響、喫緊の課題などについて、日英の事例を交え議論を深めます。

本シンポジウムは、「健康の不平等」に関心を持つ人々に新たな地平を示すことになるでしょう。

■プログラム

1. 挨拶・主旨説明
2. 講演：近藤克則（千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部長、一般社団法人日本老年学的評価研究機構代表理事）
3. ディスカッション・質疑応答
ディスカッションコメンテーター：ダニエル・ホルマン（シェフィールド大学健康寿命研究所／社会学部講師）

■申込方法：以下 URL より事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/GoufjrjCWsDWUAk79>

（締切：10 月 17 日）

※お申込みいただいた方に、2 日前までに Zoom URL を登録されたメールアドレスへお送りします。

■本シンポジウムのお問い合わせ先

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）

「健康寿命延伸プロジェクト」事務局

Email：kgri_2040pj[at]info.keio.ac.jp

※発信の際は[at]を@に置き換えてください。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

【本リリースの配信元】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>